

協議体とは

- ・ 協議体とは地域に支え合いの輪を広げていくために、地域住民同士で話し合う場のことをいいます。
- ・ 帯広市では第1層生活支援コーディネーターが設置する帯広市全体のことを協議する「生活支援・介護予防ネットワーク会議」の他、市内を8圏域に分け各圏域を担当する第2層生活支援コーディネーターが設置する複数の協議体があります。

イメージ (図)

地域（高齢者等）のニーズ
や困りごと・資源の把握

例えば…

近くに歩いて行けるスーパーが無い

一人暮らしで夏の庭の草取りや
冬の除雪が大変



協議体の開催

地域の住民等の話し合いの場を設け、同じ
ニーズや困りごとが無いかが共有したり、課題
解決のためにできることを話し合います



地域の資源とのマッチング

地域にある人（企業や団体等も含む）
やサービス、物と困りごとを抱える高齢
者などをマッチングします



新たな地域資源の創出

マッチングできる資源がなければ協議体
の運営の中で新たな地域資源を作るこ
とも検討します



生活支援コーディネーターは日頃の活動の
中から、地域住民のニーズや困りごと、地
域にどのような資源があるのか把握します



生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)

協議体に参加するメンバーを集めるなど協
議体を設置・運営します



協議体設置状況

(令和6年9月末時点)

No	日常生活圏域	協議体名	発足時期	主な協議・活動内容	担当生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)
1	全市	生活支援・介護予防ネットワーク会議	平成28年	帯広市に適した生活支援サービス体制の整備に関する協議を実施	大江
2	東	東地区協議体	令和元年	ちょっとした支え合いサポーターを中心とした協議体。地域包括支援センターと連携・協働しごみの片づけ支援等を実施	菊地
3	鉄南	鉄南地区協議体2	令和5年	再開した町内会活動を通じた地域活動に関する協議を実施	宮本（拓）
4	川北	栄地区協議体（さわやかな風）	令和4年	移動販売を通して地域住民の困りごとや生活状況に関する情報を共有し支援策について協議を実施	谷内田
5	西	ふれあいカフェふくろう	令和5年	地域の高齢者の居場所や交流の機会について協議を実施。地域での孤立・困窮対策とし軽食配付の取り組みを実施	宮本（弓）
6	広陽・若葉	見守り隊協議体	令和元年	ちょっとした支え合いサポーターを中心とした協議体。地域の見守り体制などに関する協議を実施	石川
7	西帯広・開西	西帯広・開西地区協議体 (あいじえん西帯広見守り隊)	平成30年	主に認知症高齢者の見守りや支援に関する協議を実施。中学生ボランティアとの協働についても協議を実施	神山
8	南	大空地区協議体	令和3年	担当圏域に居住する個人への支援について検討するため発足	松井
9	南	南町地区協議体（稲田さわやか）	令和4年	主に自主活動団体の活動継続に関する協議を実施	松井
10	川西・大正	八千代・広野地区協議体	令和3年	集いの場でのイベント開催の企画や自主サロンの運営に関する協議を実施	梶
11	川西・大正	大正町協議体（大正町ちょいサポ会）	令和4年	主に除雪やあいのりタクシーの利用に関する協議を実施	梶